

☆防災通信 (No.28号) で、災害発生時緊急行動 10 原則 を紹介しました。
その10原則の中のひとつ

「地震！まず身の安全、そして火をけせ！」の説明をします。

① 消火器具の説明

小規模普通火災、天ぷら油火災に適用する **エアゾール式簡易消火器** (NS：受託評価適合) を紹介します。

- 1) 充填ガス：N₂ (チッソガス充填)
- 2) 使用方法 (噴射時間：26秒 20℃で)
 - a) ノズルを火元から2~3m 離れて消火する
 - b) 火元をめがけて、全量放射する (再使用不可)
 - c) 消火器を45度以上傾けての使用はしない
 - d) **石油ストーブ・電気コンセントには使用不可**
- 3) ホームセンターにて1000円以下で購入できます



② すばやい火の始末とは

地震時、火を消すチャンスは3回あります。

- 1) 揺れを感じた時
- 2) 揺れがおさまった時
- 3) 出火した直後

大きな揺れの時は無理に消火せず、まず身を守りましょう



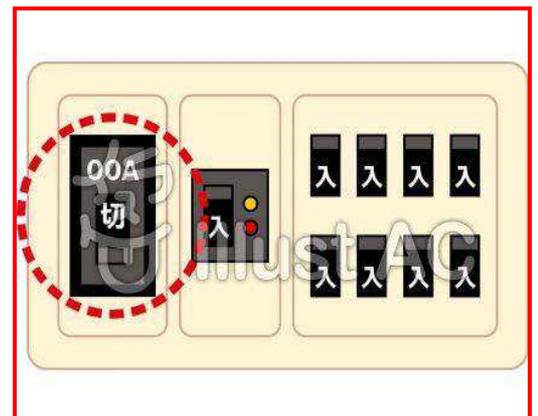
③ 出火防止のためには (事前対策)

火災に強い室内環境にしよう。

- 1) 住宅用火災警報器を設置しましょう
- 2) 住宅用消火器を設置しましょう
- 3) 暖房器具は揺れて自動的に電源が切れる物を使いましょう
- 4) カーテン等は防災加工した物を使いましょう

④ 発災後に避難する時には

ブレーカーを落とし、ガスの元栓を締めて、出火を防ぎましょう。



⑤ 危険な消火方法

天ぷら油の火災では絶対に水をかけないで下さい。

⑥ こんろ火災の消火方法

鍋の中の油が飛び散らないように消火液を鍋のふちにかけるか、壁を利用して反射させるなど、火を広げない消火が大切です。消火器がない場合は濡らしたタオルや大きなフタなどを使い、手前から滑らすようにかぶせて空気を遮断して消火します。



⑦ たばこ火災の消火方法

消火器で燃えている場所を目掛けて消火します。消火器がない場合は、水をかけて消火しますが、水の準備がない場合は、近くのものをかぶせて足で踏んで消火します。



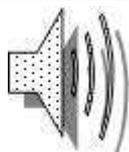
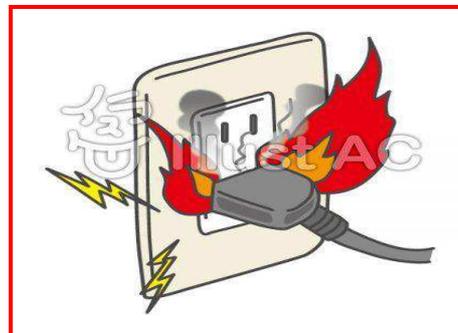
⑧ ストープ火災の消火方法

消火器燃えている場所を目掛けて消火します。石油ストーブの場合は、粉末消火器で消火して下さい。**エアゾール式簡易消火器は使用出来ません。**消火器がない場合は、**水で濡らした毛布**などで手前から滑らすようにかぶせて空気を遮断して消火します。



⑨ 電気コンセント火災の消火方法

プラグを抜くか、ブレーカーを切って粉末消火器で消火します。感電の恐れがあるので、泡消火器などは使用しないで下さい。**エアゾール式簡易消火器は使用出来ません。**



《 お知らせ 》

春の防災訓練：3月3日（日曜日） 10:00 スタート

・インターネットで防災隊の活動及び防災通信が閲覧できます。（下記に閲覧方法を紹介します）

- ① インターネットの検索欄に [ドリーム燦燦](#) と入力して検索し、[ドリーム燦燦](#) を見つけます。
- ② その[ドリーム燦燦](#) をクリックして開き、画面の右欄にある「全体の予定表」の最下段にある「プラス 地域の活動団体」の最下部「[県ドリームハイツ防災隊トップ](#)」をクリックします。
- ③ 画面の左欄にある「防災隊メニュー」で防災組織他、防災隊の活動が分かります。
- ④ 「防災隊メニュー」の防災通信をクリックすれば防災通信 No.2 から閲覧できます。

防災通信は防災ファイルに綴じておいて下さい